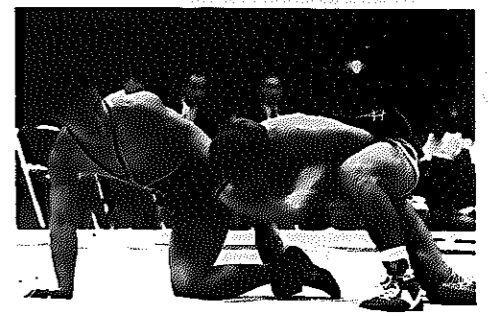


話 題

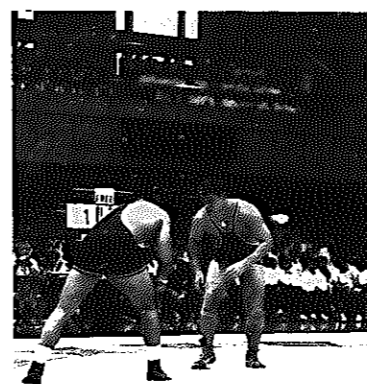
友好と親善のタツクルに大きな拍手 日米親善高校レスリング新潟・白根大会

第二十九回日米親善高校レスリング新潟・白根大会が、カルチャーセンターで六月二十六日開催されました。来市した米国選手団は、監督コーチを含め十六人。二十四日に白根入りし、市内や小須戸町などの八戸の家庭にホームステイしながら、白根第一中学校や白根高校を訪問し、友好と親善を深めました。

大会が行われた二十六日は、中学生、市民など千五百人がカルチャーセンターに詰め掛けました。新潟県チームは、巻農業高校の選手を中心としたチームで、コーチには原喜彦さん(上浦・新潟北高校教諭)、小林照雄さん(新飯田中教諭)、林雄一さん(古川出身・日本体育大学学生)と本市が誇る日本レスリング界のトップ選手の顔がそろいます。



親善試合は、五十キロ級から百五十キロ級まで、七クラス十一試合が行われました。試合の結果は米国の九勝、日本の三勝と米国の圧勝に終わりましたが、高校生の真剣な戦いぶりに会場から大きな拍手が送られました。



ホームステイでの楽しいひとこま

ま ち の

県 大会目指して猛練習 ポンプ自動車 白根分団第二部

今年十二日に上越市で開かれる県消防大会目指して、白根分団第二部の皆さんが猛練習に励んでいます。三市中蒲代表でポンプ自動車の部に出場する皆さんは、毎晩消防署員から厳しいマンツーマン指導。五月末からほとんど毎晩の練習に「奥さんの応援がなければできない」と話す相沢さん。「声がかれたり足が痛くなったりしていますが上位入賞を目指して頑張ります」と大会を間近に控えて抱負を語ってくれました。安全・確実・迅速を競うこの大会、やはり最後はスピード。きびきびと動く団員の額は汗びっしょりでした。



子 供 文庫ができました 大通西公民館 ユネスコライブラリー

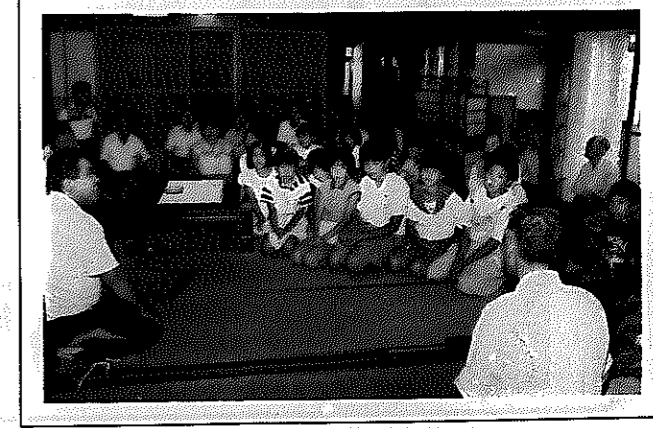
大通西公民館に大通子供文庫が開設。これは日本ユネスコ協会が募集した、第十一回ユネスコ・ライブラリー100という子供文庫の募集に同地区の青木きよ子さんが応募、当選したものです。同協会からは国際理解や平和・環境保護の大切さなどの視点から選定された児童用図書百冊が贈られ、青木さんはほとんどん利用してほしいと呼び掛けています。文庫にはさらに青木さんが自分の本棚から五十冊を寄付。「本棚に眠っている本を持ち寄って、みんなの文庫にできれば地域づくりの輪が広がります」と話していました。



話や伝説に興味津々 英曾根・ふるさとハイキング教室

英曾根に伝わる民話や伝説を学習して、地区の生い立ちを知ろうと、英曾根地区公民館では、英曾根小学校五、六年生二十二人を対象に六月三十日「ふるさとハイキング教室」を開催しました。

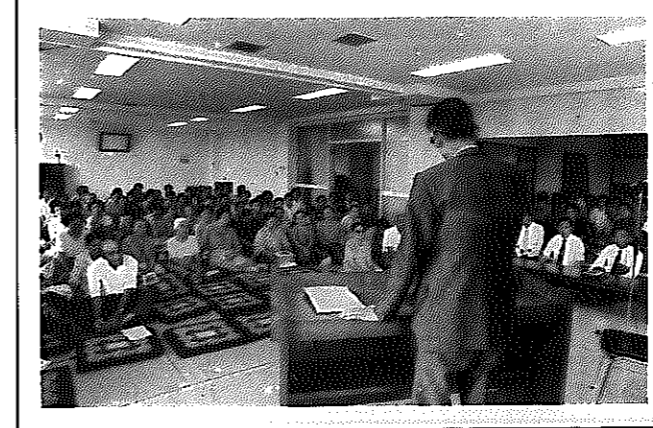
この日の先生は、地元の人たち。東萱場から清水まで自転車で移動し、四方所で話を聞きました。弘法大師の言い伝え(丸瀧)、武田信玄に仕えた山際氏が東萱場を開いたこと、良寛さんのお嫁さんは上茨出身、清水のお地蔵さんの不思議な話など。ちよつと難しい内容でしたが、小学生は興味深そうに聞いていました。



じょんのびさせてモロたれ 庄瀬地区公民館 お年寄りの集い

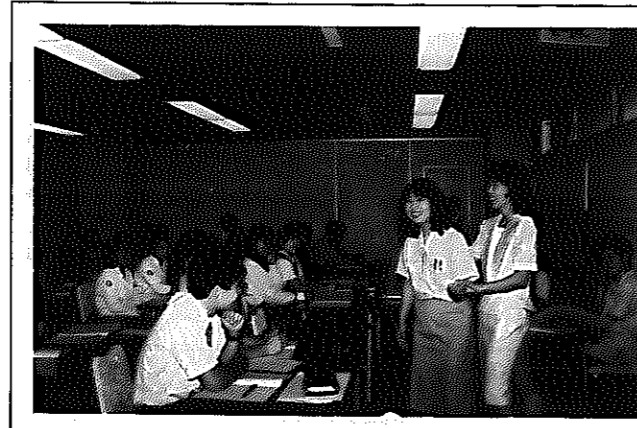
七月八日、庄瀬地区公民館で「おじいちゃん、おばあちゃん集い」が開かれました。これは同公民館が日ごろ家庭に閉じこもりがちなお年寄りから、楽しい一日を過ごしてもらおうと毎年開催しているもの。今年には百八十八人近い申し込みがあり、毎年この集いを楽しみにしているというお年寄りで会場は満員。

心の健康や地区内の犯罪の話、さらに指人形を使った嫁・姑教室など盛りだくさんの内容にみんな大喜び。いつもは孫の子守などで家を空けられないおばあちゃんたちもこの日は「じよんのび」の一日でした。



配りて印象が変わります 接遇対応セミナー

白根地区電信電話ユーザ協会の主催で、六月二十日、接遇対応セミナーが行われました。会場となったサルナート吉運堂には五十人を超える受講生が集まりました。受講生の多くは女性で、新入社員の姿も。接遇インストラクターの井上恵美子さんが、ビジネスマナーについて実技を交えながら指導。セミナーの後、受講生は「接遇って難しいですね。何気ない言葉やしぐさが、心配りに気をつけるだけで、ガラリと印象が変わってしまいます。実際にやってみると、なかなか言葉が出ないものですね」と話していました。



貴重なデータを採取 基礎試錐「新潟平野」掘削終了

地質調査と石油・天然ガス埋蔵の可能性を調査するために、昨年十月から十五間で掘削が進められていた基礎試錐「新潟平野」。五月二十七日には当初計画どおり、深度六千メートルに達し、六月八日には埋め戻しが終了しました。

この調査により、多くの貴重なデータが得られました。採取した火山岩に石油・天然ガスが含まれるかどうかなどの、詳しい調査結果は十月ごろ新潟市で開催される通産省主催の検討会で発表されるとのこと。白根の地下にどんな可能性が眠っているのか、楽しみですね。

